

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

## 2023 年度(令和 5 年度)

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

# 事業報告



ふらっとカフェ～県立宮崎病院～

## 目次

1、活動のまとめ	…1
2、2023 年度事業活動実績	
1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア活動)	…2
(1)患者らいぶらり    (2)宮崎聞き書き隊	
(3)緩和ケア病棟園芸ボランティア	
2) 人材養成のための教育プログラム	…3
(1)市民公開講座 (宮崎市在宅療養相談事業)	
(2)がん患者と家族のためのサポーター養成講座 (宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)	
(3)これからライフデザイン塾	
3) エンドオブライフケア支援事業	…5
(1)暮らしの保健室	
①ゆるりサロン②陽だまりカフェ③AYA 世代お茶会	
(2)ふらっとカフェ (がんサロン事業・宮崎県委託)	
(3)宮崎市在宅療養相談支援事業 (宮崎市補助事業)	
4) ホームホスピスカあさんの家事業	…11
(1)かあさんの家の運営	
(2)訪問介護ステーションぱりおん (医療・介護保険規定による事業)	
5) HALE たちばな	…15
(1)事業概要	
(2)休眠預金等活用事業	
(3)たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿	
(4)医療・介護保険規定による事業	
①みつばち診療所	
②訪問看護ステーションぱりおん	
③日中一時支援 ohana	
④共生型短期入所 (福祉型強化) 施設 leilei	
6) ホームホスピス推進研修センター事業	…24
(1)ホームホスピス研修生の受け入れ	
(2)一般社団法人全国ホームホスピス協会	
7) 研究・啓発・情報・広報	…25
(1) 認定 NPO 寄付文化の醸成	
(2) ホームページ SNS の充実・報道	
(3)講師派遣・見学者の受け入れ	
(4)外部委員会参加	
8) 助成・寄付	…26
9) 組織運営	…27
(1)理事会・定期総会	
(2)会員	
(3)寄付者	
(4)事務局	

# 1. 活動のまとめ

## ◎はじめに

2020年から3年余りにわたって猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に感染症上の分類が「5類感染症」へと変更され、通常の医療体制に移行しました。しかし、介護や医療の現場では、「第7波」「第8波」と感染拡大し、今後も感染症が終息してしまうことはないと予測され、医療機関では面会制限などが続くと推測されます。

みつばち診療所や訪問看護では、がん末期の方や高齢の難病の方など在宅ターミナル患者が60%を占め、小児の看取りも行っています。かあさんの家入居者の介護度平均は4.9で、重度のケアが必要な方々です。5類以降も引き続き感染対策をしながら24時間対応の在宅医療が続きました。同じ法人内にある診療所と訪問看護、訪問介護が緻密な情報共有し、宮崎大学、基幹病院や地域の専門職と連携して患者さんの暮らしを支えています。

また2024年正月に発生した能登半島地震被災地の高齢化率は50%を超えていて、家屋も暮らしも破壊されてしまいました。日常生活を取り戻すまでの復興の兆しがいまだ見えていません。宮崎市でも、南海トラフ地震が発生すると震度7が想定され、耐震性の低い木造建物は倒壊の恐れがあり、かあさんの家霧島、月見ヶ丘の家の耐震性が弱いことがわかりました。そこで19年間お世話になった霧島の家を3月末で返還し生目台の家に転居しました。月見ヶ丘の家は、来期5月に耐震改修工事に着手する予定です。「正しく恐れ」防災対策に取り組んでいくことが重要だと考えました。

また、共生型短期入所は、介護保険と障害福祉を両方使うことができ、医療的ケア児から障害を抱える高齢者まで利用が可能で、利用希望が多く常に満床での稼働が続いています。ただ、制度上の対価が低いことが課題で、議会や行政に現状を訴え働きかけ、来期6月より報酬の加算や補助を受けられるようになったことは大きな成果でした。

2015年に認定NPO法人として認証を受けましたが、そのメリットとして寄付者が税制上の優遇措置を受けることができます。マンスリーサポーター（毎月定額寄付で活動を支える）の募集キャンペーンを実施し、50名のサポーターの方々に賛同いただき、多額の寄付を頂きました。

任意団体として活動を始めて26年、NPO法人としては24年になります。設立時に定めた定款の目的は、「**生命の尊厳を基本理念として、誰もが安心して望む場所で望むように生を全うすることができるよう、様々な職種およびボランティアの連携を図り、地域住民の健康保持及び福祉増進に寄与することを目的とする**」であり、この理念を根幹に事業を展開してきました。高齢者福祉から、小児在宅医療まで、目の前の必要なことを、できないのでなく、どうやったらできるかを考えて、多くの人を巻き込んでの26年。0歳から100歳までの命に寄り添うことになりました。

## ◎基本方針…定款の目的を達成する為に、以下の事業を行ってきました

- ①在宅ホスピス支援センター事業
- ②人材育成のための教育プログラム
- ③エンドオブライフケア支援事業
- ④ホームホスピスカあさんの家事業
- ⑤在宅総合支援「HALEたちばな」事業
  - ・みつばち診療所・訪問看護ステーションぱりおん・日中一時支援 ohana・共生型短期入所 leilei  
（医療保険・介護保険規定による事業、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業）
- ⑥ホームホスピス推進研修センター事業（併設一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局）
- ⑦認定NPO寄付文化の醸成

## 2. 2023年度(令和5年度)事業活動実績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

### 1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

#### (1) 患者らいぶらり ※2023年12月より活動を再開。

実施日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00

場 所：古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

ボランティア：6名

実施日：2023年12/21(5)、2024年1/18(5)、2/15(6)、3/21(6)



合計4日 活動延べ人数：22名

病院から再開の依頼があり、11月に現状を見に行った。

貸出ノートも新調され、入院されている方の利用が続いていることを体感し、これは再開しなければという気持ちになった。

ボランティアの方の再集結と同時に新規ボランティアを希望する方もあり、4階病棟と産婦人科担当に分かれて本の整理、補修から始めている。

#### (2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

担 当：井上 直敬

ボランティア：11名

実施日：(参加人数※リモート参加者も込) 2023年4/9(5)、5/14(5)、6/11(3)、7/9(3)、8月(休会)、9/10(6)、10/8(3)、11/12(4)、12/3(5)、2024年1/14(8)、2/18(3)、3/10(7)



合計11回 延べ参加者数：52名

○2023年9月2, 3日 聞き書き学校 in 熊本 参加3名

講座を受けたあとを定着した活動に導くためや、聞き手・書き手としての疑問や行き詰まりを解消するために定期的に実施している。また交流の場、情報交換の場としての機能も有している。メットライフ生命 CSR 活動(オンライン聞き取り)のサポートを行った。



聞き書き学校 in 熊本

#### (3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

ボランティア：9名 実施日：実施なし

合計0日 活動延べ人数：0名

緩和ケア病棟が生目に移転し、ボランティア休止状態である。

#### (4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：久保野 イツ子



庭の手入れ

## 2) 人材養成のための教育プログラム

### (1) 市民講座 (令和5年度 宮崎市在宅療養相談事業)

映画上映会「ぼけますからよろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」

期 日：2023年11月11日(土) 18:00～

会 場：宮崎キネマ館

来場者：40名 事務局・スタッフ10名

#### 【来場者感想】

- ・とてもいい映画だった。
- ・胸の奥が締め付けられるような場面もあったが、家族愛いっぱいの素敵な映画だった。



### (2) がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

「がんと上手につきあうには」

期 日：2024年2月18日(日)13:00～16:00

会 場：宮崎市民プラザ 大会議室

ZOOMでのオンラインと会場のハイブリッド開催

講 師：石川 智信 氏 (医療法人社団三友会理事長・医師)

コーディネーター：板井孝彦 氏

(宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理学分野教授、臨床倫理部部长)

参加費：無料 (宮崎県より修了証を発行)

参加者：59名 (会場49名 オンライン10名)

看護師、訪問看護師、病院関係者、ソーシャルワーカー、高校生、大学生、医師、保健師

社会福祉士、介護福祉士、地域包括支援センター、がんサバイバー、患者家族など

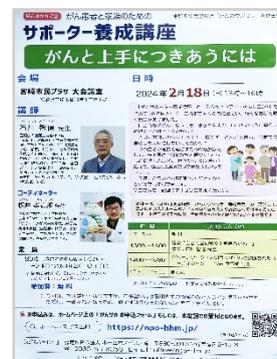
プログラム：12:45～受付

13:00～講演「自宅で最期まで生きるために」 講師：石川智信 氏

14:00～グループワーク「大切な人ががんと診断されたら」

コーディネーター：板井孝彦 氏

16:00 終了

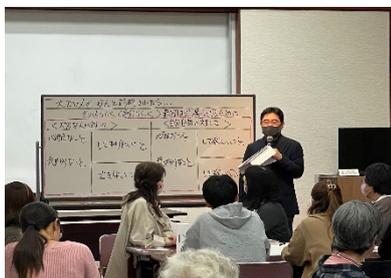


### 【参加者感想】

- ・石川先生の話し方がとても穏やかでわかりやすかったです。そういうドクターが増えると相談しやすいと思う。
- ・事例としての経験の話、お別れの大切さを聴講できてよかった。
- ・先生方の貴重なお話もグループワーク、とっても勉強になりました。来年もぜひ参加させて顶きたい。
- ・若い方の意見が聞けて、はっとすることがありました。また、自分の考えを紙に書くことも大事ななあと思った。
- ・普段は、話す機会のない世代の話をきくことができ、とても良かったです。
- ・医師を目指す学生(高校生)としてこのような現場(医療)におられる多職種の方々からお話がきけて、本当にためになりました。もっともこのような機会が増えるといいなあと思います。
- ・講座中、笑いあり、涙あり、グループワークでも、いろんな意見を聞くことができ、これからの人生、仕事に役立てていきたいと思った。
- ・いろんな人生があり、いつ受け身になるかわかりませんが、それまでは寄り添える看護師で頑張って生きていきたい。

### 【まとめ】

久しぶりの対面でのグループワークで、他の方の話を聞くこと、自分の話をすることの楽しさ、自分が知らない体験や違った意見を聞く面白さを感じた。最初は頭が働いておらず、考えが浮かばなかったが、皆に刺激され考えが浮かび、会話が活発になった。色々な職種や働く場の方、がんサバイバーやご家族の方と広く一緒に研修することで、広い視点や自分と違う考えを持った方を尊重し、がんと共に生活していく方、私たちが生きやすい社会の構築につながると思う。来年も継続したい。



### (3) これからライフデザイン塾 (宮崎市認知症カフェ運営補助金)

#### 【開催概要】

「スッキリ！終活セミナー」 認知症カフェにて実施

期 日：2023年12月4日(月) 13:30～14:30

会 場：暮らしの保健室

参加者： 15名

講 師：高橋 好香 氏(終活セラピスト)



入院や災害、旅立ちに備えた断捨離やエンディングノートなど、今から始められることを体験から話され、一人一人が自分事として考えるきっかけになるようなお話だった。

### 3) エンドオブライフケア支援事業

#### (1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」  
コロナ禍であっても、感染対策のための換気をしながら快適に  
過ごせる居場所づくりをすることができるように、昨年度6月より  
「陽だまりカフェ(認知症カフェ)」を開始した。



暮らしの保健室で催される内容を、毎月「暮らしの保健室だより」として発行 計12回発行  
○ 2024年2月12日 暮らしの保健室フォーラム in 熊本にて活動報告

《暮らしの保健室利用状況》「ゆるりサロン」は定例・毎週月、水10:30~15:00

月	日	曜日	時間	内容	人数
4	9	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	5
5	14	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	3
	19	金	17:00~18:00	理事会	5
	27	土	13:30~14:30	総会	13
6	5	月	13:00~15:00	陽だまりカフェ	6
	11	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	3
	24	土	10:00~12:00	陽だまりカフェ	5
7	3	月	13:00~15:00	陽だまりカフェ	10
	9	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	3
	22	土	11:00~14:00	陽だまりカフェ	6
8	26	土	13:00~15:00	陽だまりカフェ	10
	28	月	18:00~19:00	理事会	4
9	4	月	13:00~15:00	陽だまりカフェ	13
	10	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	5
	23	土	13:00~15:00	陽だまりカフェ	11
10	8	日	10:00~12:00	聞き書き勉強会	3
	28	土	13:00~15:00	陽だまりカフェ	14

11	6	月	13:00～15:00	陽だまりカフェ	10
	12	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	4
	25	土	13:00～15:00	陽だまりカフェ	10
12	3	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	5
	4	月	13:00～15:00	陽だまりカフェ	13
	23	土	13:00～15:00	陽だまりカフェ	4
1	14	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	6
	20	土	13:00～15:00	陽だまりカフェ	4
2	5	月	13:00～15:00	陽だまりカフェ	13
	18	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	3
	22	木	13:00～15:00	陽だまりカフェ	11
3	4	月	13:00～15:00	陽だまりカフェ	8
	10	日	10:00～12:00	聞き書き勉強会	7
	23	土	13:00～15:00	陽だまりカフェ	7
	29	金	17:00～18:00	理事会	5

### ①ゆるりサロン

実施日時：毎週月・水曜日 10:30～15:00

場 所：暮らしの保健室 事務局担当：宮脇裕子

ボランティア：6名（うち体操指導2名、パッチワーク指導1名）

参加者：自分で来所することができる方、ご家族送迎のある方

コロナ感染予防対策として、月曜日3名・水曜日4名と参加人数を調整し実施。

実施日（回数）：2023年4月(8)、5月(9)、6月(8)、7月(8)、8月(5)、9月(7)

10月(8)、11月(9)、12月(6)

2024年1月(7)、2月(7)、3月(7)

合計 89回

延べ利用者（人数）：2023年4月(28)、5月(26)、6月(28)、7月(22)、8月(14)、9月(19)

10月(22)、11月(26)、12月(14)

2024年1月(19)、2月(16)、3月(21)

合計 255名

延べボランティア数(人数):2023年4月(33)、5月(32)、6月(33)、7月(31)、8月(21)、9月(25)

10月(29)、11月(32)、12月(22)、

2024年1月(25)、2月(22)、3月(21)

合計 326名



年間行事: 7月 七夕さま

12月 クリスマス会

4~2月 イオン幸せのイエローレシートキャンペーン参加



\*卒業研究…「高齢者におけるネイルケアでの効果」 宮崎公立大学4年生  
11/13、15、20、22(計4回)

要支援までの認定を受けるまでもない一人暮らしの高齢の方や、要介護であってもデイサービスの無い日に気軽に出かけられる場所。ゆるりサロンに行くとなじみの顔があり、楽しみができることにより、健康を取り戻し、認知症などの進行を抑えることができている。

新型コロナウイルス5類移行後も、検温・消毒の徹底をするなど感染予防対策に努めている。



月曜日の皆さん



水曜日の皆さん



## ②陽だまりカフェ(宮崎市認知症カフェ運営補助金)6月～

実施日時: 第1月曜、第4土曜日 13:00~15:00

場 所: 暮らしの保健室

担 当: 松井康代・大島李沙・川瀬早希

内 容: 2023年6/5 相談、情報提供、体操、パッチワーク教室

6/24 相談、情報提供、アロマ化粧水づくり

7/3 相談、情報提供、「音楽療法」 講師: 南正覚文子 氏

7/22 相談、情報提供

介護教室① 「シニア向けパソコン・タブレット活用講座」 講師: 太田克美 氏

8/7 台風接近により電話相談、情報提供

8/26 相談、情報提供、「簡単調理で暑い夏をのりきろう! ~栄養について~」

9/4 相談、情報提供、「音楽療法」

9/23 相談、情報提供

10/28 相談、情報提供、楽しみながら脳を活性化! あやとり教室

\*宮崎農業高校から2名 認知症について学習のため参加

11/6 相談、情報提供、「音楽療法」

11/25 相談、情報提供、宮崎農業高校生によるクリスマスリース製作

12/4 相談、情報提供、介護教室② 「スッキリ! 終活セミナー」 講師: 高橋好香 氏



12/23 相談、情報提供、しめ縄づくり  
 2024年 1/20 相談、情報提供、アロマテラピー、健康体操  
 2/5 相談、情報提供、「音楽療法」  
 2/22 相談、情報提供 介護教室③「我が人生を振り返って」講師：森 憲正 氏  
 3/4 相談、情報提供  
 3/23 相談、情報提供、談話会

利用者数 2023年 6/5(8) 6/24(5) 7/3(7) 7/22(6) 8/7(1) 8/26(11) 9/4(15) 9/23(11) 10/28(14)  
 11/6(10) 11/25(11) 12/4(14) 12/23(4)  
 2024年 1/20(4) 2/5(15) 2/22(11) 3/4(8) 3/23(7)

合計 162 名 (スタッフ・ボランティア 47 名含む)

気軽に立ち寄って話ができる場所として、2年目の事業となった。

チラシや看板を見て参加される方の他、認知症推進委員から紹介のあった参加者もあり、地域の方にも知っていただく機会が増えた。家族や地域にお住まいの方の参加が主ではあるが、認知症(要介護1)の方が音楽療法に参加され、とても楽しかったと話されていた。

小学生があやとりの先生として参加したり、認知症について勉強している高校生から「クリスマスリースづくり」の企画があったため、高校生を中心とした回を設けるなど、多世代交流もすることができた。しめ縄づくりでは、片麻痺のある方が講師にサポートしてもらいながら完成させることができ、とても喜んでいた。

個別相談は少なかったが、対応が難しい場合は別日にゆっくり時間をとるなど配慮した。顔なじみになると、家族とのかかわり方の悩みを話したり、参加者同士で情報交換をすることもあり、談話によって相談者の気持ちが軽くなることもあったようだった。



宮崎農業高校生による折り紙教室



音楽療法



介護教室

### ③AYA 世代お茶会

実施日時：年 12 回

内 容：AYA 世代患者会への支援

担 当：太田 幸子

実施なし

## (2) がんサロン（ふらっとカフェ）事業

主 催：宮崎県 運営企画：ホームホスピス宮崎

担 当：太田幸子

カフェスタッフ：8名 アロマセラピスト：3名

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場 所：県立宮崎病院 4階会議室

実 施 日：2023年 4/12、5/10、6/14、7/12、8/9 台風接近で中止、9/13、10/11、11/8、12/13

2024年 1/10、2/14、3/13

計 11回 実施

延べ利用者数：119名＋見学者等 21名



参加者(スタッフも)は、入口で検温、手指消毒、連絡先・問診票の記入 テーブルに消毒液設置。コーヒー、紅茶、お抹茶、煎茶と個包装の小さな菓子を提供 飲食以外、特に会話時はマスク着用。希望者にはアロママッサージを体験して頂く 治療や生活に役立つ正しい情報など、毎回違う持ち帰り用の資料をプリントし用意した。

発行に携わった患者さんより提供を受けた「がんサポートブックみやざき」を配布した。

初めての方には、とにかく話を聞いて心の内を吐き出してもらうことに心がけた。何回も来られている方は、ふらっとカフェでの顔なじみと対面で会話を楽しんでいた。

同じ薬の使用経験者や、同じがん種の方と話をしたいという方には、了承をとり、話を

してもらった。初めての方にも、自ら話しかけて下さり、ご自身の経験を話されることもあった。

経験者同士の話は、納得がいくようで、表情が明るくなっていく様子がみられた。



### 【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月8日から「5類感染症」に移行されたので、定期開催ができた。換気の良い部屋でマスクは着用しているが、対面で病気のことを話したり、他愛ない雑談で笑い合うことができ、大切な日常が戻ってきた感じがする。

病院の待合では、なかなか話ができないことがあるそうだが、ここで患者さん同士が仲良くなることで、楽しみの一つとなっている。初めての患者さんに、自ら声をかけて「あなただけではない」という経験を話して下さり、ピアサポートの場にもなっている。

アロマセラピストのことが宮日新聞で紹介され、気になって来てみた方や、告知を受け、まっすぐには帰れない、ここがあって良かったと教えてくださる方もいらした。

話しながら、これからどう生きて行くか、一生懸命考えておられる様子がわかった。

高齢の患者さんには、在宅療養のお話をしたり、事務局や個人的に電話で相談のフォローをした。

自分の話し相手をして欲しい患者さんには、事務局で電話を受けたり、当日はできるだけの対応をしたが、新しい来訪者への対応も必要なので、とても苦慮した。

会場のお花、お抹茶をはじめとしたお茶の接待、アロママッサージのタッチングの癒し等、関わるスタッフのおもてなしの心「あなたのことを大切に思っていますよ」の心が伝わり、感謝している。

がん関係訪問調査の方の来訪や、嶋本病院長も覗いて下さった。

がんと共に生きる方たちがホッとして、自分の力を取り戻すための場所の1つになれたらと思う。

### (3) 宮崎市在宅療養支援事業（宮崎市補助事業）

相談担当：理事長・看護師・介護福祉士・事務局

相談件数：67件（かあさんの家入居3名）

電話・メール・対面にて相談

主な相談内容：がん治療、退院後の生活、病気の家族への寄り添いかた、在宅介護、施設入所、在宅医療、在宅サービス、看取り、かあさんの家入居

#### 【相談窓口の設置】

- 宮崎市において、がんや認知症等の終末期患者で、医療機関での積極的な治療を望まず、住み慣れた地域で、馴染みの人に囲まれて最期の時を過ごしたいと在宅療養を選択して、様々な困難にぶつかったときに、共に考え話を聞き語ることで、自分自身の気持ちや症状を整理し、「わたしらしく生きる」道標の場を設置する。
- 相談窓口設置の周知のためにチラシ作成し、自治会回覧板での案内。  
メンタルケアや看取り、認知症の介護に精通している看護師等の相談員を置く。
- 相談専用電話機を設置し、常に相談できる体制を整える。  
専用相談電話 0985-67-5003  
相談日：週5日午前10時から午後5時まで開設。  
相談は、電話、または面談してお話を聞く。相談料無料。  
相談内容に関する個人情報保護の重要性を認識し適正に取扱う。



#### 【相談内容と対応】

- 新型コロナウイルスが5類になり、独りではなく人と関わる機会が増えたこともあり、ピーク時より相談件数は落ち着いてきたが、1回の電話相談時間が長い方もいらっしゃる。
- がん治療後の生活やターミナル期の過ごし方などの相談が増えたり、統合失調症の方からの相談もできたため、情報提供だけではなく時間をとって傾聴し、不安な気持ちに寄り添うことの重要性を感じた。
- 自治会回覧の影響は大きく、電話番号を記録して「本当に辛くなったら電話しようと思った」と話された方もいた。専門職が対応したほうがよい事例は、法人内診療所や包括支援センターなどに繋ぎながら対応してきたが、内容が多岐にわたってきたため、相談窓口を持つ団体との連携も必要になってきた。

## 4) ホームホスピスカあさんの家事業

### (1) かあさんの家の運営

統括マネージャー：久保野イツ子

主 任：【曽師】薬師寺恵【月見ヶ丘】荒川久美子【霧島→生目台】柴田さつき

#### 【事業内容】

- ① 訪問診療、訪問看護と必要に応じてその他の職種の訪問サービスを受け入れ、地域連携サービスを整える。ここから、他の事業所のデイサービスなど利用する。
- ② 24時間 365日対応で、夜間1名、昼間2名のスタッフ配置。
- ③ 家族を対象とした死のプロセスの理解や、看取りの心構えなどを、かかりつけ医や訪問看護ステーションと連携して補完する。
- ④ 高齢者の摂食嚥下に配慮して嚥下訓練やソフト食の提供。調理担当スタッフがいることで、台所からの音や匂いがあふれ、食欲が増す効果がみられるようになった。
- ⑤ 本人の意思を尊重した個別ケアを実施する。(排泄、食事、入浴、睡眠など)
- ⑥ 防災など地域住民と連携し、日ごろからのコミュニケーションを図る。日頃からの挨拶や地区の行事に参加するようにしている。

#### 【かあさんの家の運営】

・本年度の看取り数は10名。病名としては、がんや神経難病、腎不全等の基礎疾患があるも、個別ケアで普通の生活を続ける中、入居当初は余命数カ月と告げられた方も、数年の経過をたどっている。病状が落ちついて、2年から11年のかたも、100歳の寿命を全うされた方も、死亡病名は老衰が9割を超えた。「病院に入院していたら家族が傍に寄り添って看取ることができなかった、本当に良かった」「よく頑張りました。ありがとうございますと声をかけることができました」との家族の言葉があった。

・穏やかな経過をたどり長い入居となっていた方々を相次いで見送り、かあさんの家に空きの状態が続き、5名定員に満たないでの運営となった。

・課題としては介護職の不足が続いており、ハローワークやSNSを使つての募集をするも、なかなか応募そのものがない状態が続いている。夜勤のみ勤務として、准看護師や看護師のダブルワークなどをお願いしている。

・能登半島地震での家屋の倒壊の惨状をしり、かあさんの家の耐震性を調べた。その結果、霧島の家は、築61年経って雨漏りや床の傾斜など老朽化が進んでおり、東京在住の家主に相談し現状を見ていただいた。生目台東の旧安庵の家を11月に正式に賃貸契約をし、そこに入居者、スタッフ共々転居することになった。生目台東地区の方々が、ようやくホームホスピスが再開されるのですねと、喜んで受け入れていただいた。以前からNPOささえあいの活動があり、地域が耕されているなど感じた。また、月見ヶ丘も築50年で耐震診断を依頼し、震度7の地震であれば倒壊との結果だった。早速耐震改修の工事を来期5月末に予定している。

### 【新型コロナウイルス感染への対策】

- ・コロナ感染症が、感染症2類から5類に変更になった後も、病院や施設では感染者の増加が続き、感染対策は続いているため、ご家族の面会は制限がある。病院医療連携室からの紹介があり、家族でみとってやりたいとの希望で、入居となった方があった。特にターミナル期の方は、悔いのない看取りを支えるために、直接部屋に入れるようにしてベットサイドに寄り添ってもらった。

### 【行事や研修生の受け入れ】

- ・お誕生会やお花見会

それぞれのお誕生会は、ご家族にも参加いただいてスタッフが主になってお祝いした。

例年行事のお花見会は、休止状態であり、ご家族同士の交流の機会が少ない状態が続いている。

今後、家族の交流会の機会を企画していきたい。

- ・研修生の受け入れ

研修医や看護学生の研修や実習などを徐々に受け入れていった。

ホームホスピスの学校のつくるコースの実習先として2名の研修生を受け入れた。

本年度は、東京慈恵会医科大学看護学科、鹿児島大学保健学科看護学専攻、宮崎大学看護学科との3大学共同実習も受け入れた。また、初めて県立看護大学の実習生の受け入れが始まった。

研修担当の久保野イツ子さんは、ケアの現場で実習生に強調することは、”本人にとっての最善”は何かということを指導の基本に据えている。

### ◆かあさんの家 曾師◆ (2024・3・31 現在)

現入居者：2名（経管栄養2名）平均介護度：5

スタッフ：介護職8名、調理 1名

看取り数：4名 新たな入居者：3名

- ・3年から11年と、長い入居期間の方々相次いで亡くなられて、スタッフも寂しい気持ちになった。  
ご家族が葬儀で述べられた文章を送ってくださった。



印象深いのでここに抜粋転記

「遺影の写真と違って、随分痩せましたが、これが自然な形で死を迎えた姿です。

重くて、不自由な身体から離れて、自由になりました。どうか、最期までよく頑張ったんだねと、生きぬいたねと、声をかけてください。本人も喜ぶと思います。

本日はお忙しい中、母の葬儀にご参列いただき、ありがとうございました。

これまで、本当にお世話になり、ありがとうございました。」

ご家族が大切な人を見送って、このような気持ちで看取りをなさったことは、スタッフにとっても人間の生きていくことの意味と価値、そして死そのものに対して視野を広げることができました。

◆かあさんの家・霧島→生目台◆ (2024・3・31 現在) (2024年2月29日より生目台に転居)

現入居者：5名 (認知症3名、心疾患1名、神経難病1名) 平均介護度：5

スタッフ：介護7名、調理 1名

看取り数：2名 新たな入居者：3名

・摂食障害の方の食事支援を、歯科医の指導の下に実践し、経管栄養から口から食べるようになられた。経口摂取は、単に栄養状態の問題ではなく、生きる力をもひきだすことが示された。

・転居による環境の変化が入居者にどんな影響が出るのか心配したが、全員がすぐに落ち着かれ、環境にすぐに適応された。ご家族が自宅から遠方になった方もおられたが、新しい環境を喜んでくださり、家族同士の交流が始まったことで、生目台入居者のとも暮らしの雰囲気が心地よいものになっている。



引っ越し作業を終えて

◆かあさんの家・月見ヶ丘◆ (2024・3・31 現在)

現入居者：4名 (気管カニューレ及び胃瘻1名、経管栄養1名、神経難病1名、認知症1名、)

平均介護度：5

スタッフ：介護7名 (内 夜勤専従者2名)

看取り数：4名 新たな入居者：4名、退所者1名

・現入居者は、気管カニューレ、経管栄養、喀たん吸引などの医行為が必要で、重度介護が必要な方々である。病状は落ち着いて居てそれなりに穏やかな生活が継続されている。しかし、少しずつレベルの低下がみられる。

・病院でコロナ感染し、ADL低下で経管栄養で、菅を抜かないようにミトン装着、入居後ミトンをはずしたら直ぐに管を引き抜いてしまった。それなら何とか栄養を取れる方法を考えようと、スタッフの工夫で、口から高カロリー栄養剤を飲んでもらい小康を得た。徐々に食べることができなくなり、ご家族に寄り添われて静かな旅立ちであった。

・昨年は看取りの方が0名であったが、6月から8月までに相次いで4名の方々を見送った。最期をどう看取るのか、家族の気持ちと齟齬がないようにカンファを開き、4名の方いづれも老衰であった。



◎ Syncable 継続寄付キャンペーン 2023年5月29日～

かあさんの家の環境整備などに活用させていただき、キャンペーンを実施した。

多くの方に賛同いただき、移乗マットやサーキュレーターを購入、壁紙の張替え、エアコンの修理などを行うことができ、とても感謝している。

## (2) 訪問介護ステーションぱりおん (医療・介護保険規定による事業)

管理者：甲斐昌江

サービス提供責任者：薬師寺恵、甲斐昌江、荒川久美子、紫田さつき

スタッフ：24名 うち夜勤専従看護師2名

介護福祉士12名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級7名、調理担当2名

### 【内部研修】

・毎月初めに主任会議(シフト会議)、各かあさんの家の報告(毎月)

・定例スタッフ研修(毎月、各家ごと)

今年度は、各かあさんの家5月、10月、1月に開催。

かあさんの家曾師で、ばたばたと2名の入居者の方を看取った。初めての試みで、久保野副理事主催で亡くなられた2名のデスカンファレンスを行った。

福祉の仕事、就職フェアに2名で参加→3名が話を聞きに来られたが、採用までにはつながらない。

### 【外部研修】

2023. 4 在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 1名

7/1、2 ホームホスピス実践者育成塾 全国ホームホスピス協会主催 2名

7/25 「虐待防止と身体拘束」セミナー 2名

12/2、3 全国ホームホスピス協会全国大会 in 福岡 あたりまえの暮らしを「あたりまえ」に

全国ホームホスピス協会主催 2名

12/8 介護の未来展 2023～知っておきたい これからのこと～in みやざき カクイックスウィング主催 1名

2024. 2/6 「令和6年度 介護報酬改定について」 介護労働安定センター主催

### 【その他】

11/14 福祉のしごと就職フェア 出展

## 5) HALE たちばな

### (1) 事業概要

HALE たちばなは3年目に入り、それぞれの事業が軌道に乗ってきた。

みつばち診療所は、医師を増員して2名体制となった。行政の指導も一部受けながらも、順調に訪問先を増やし、かあさんの家への訪問や訪問看護との連携、また地域の医療機関との連携も行いながら、訪問診療所としての役割を確立してきた。

訪問看護ステーションぱりおんは、医療的ケア児の登校サポート事業なども受託し、この分野での地域における第一事業所としての役割を果たしている、短期入所 leilei、日中一時支援 ohana とともに、障害区分の重い利用者を受け入れていることで、これまでこのような制度をなかなか利用できなかった医療的ケア児の利用が一気に増えた。

短期入所は福祉型であるため、制度の壁もあり、収益的には厳しい面もあるが、行政との話し合いなど、政策提言も含めて、制度の改善を求めてきた結果、来年度から県と市町村が共同で補助金を創出することが決まった。加えて、診療報酬同時改定が2024年6月に実施されるが、重度の医療的ケア児のケアに関して、加算される内容が伝えられた。

コミュニティカフェ游椿は、運営委託で行っているが、2022年6月から「Café kiki」と委託契約を結び、ランチの提供や休眠預金基金事業などとの連携によるクラフト作品の展示販売などを行っている。

- ・HALE たちばな事務局
- ・みつばち診療所（主として訪問診療）
- ・訪問看護ステーションぱりおん
- ・福祉型強化短期入所 leilei（定員5名）
- ・日中一時支援 ohana（定員最大10名）
- ・たちばな学舎（ミーティング、セミナー、各種教室に利用）
- ・コミュニティカフェ游椿（福祉トイレなどを備えたカフェ）



### (2) 休眠預金等活用事業

2021年度より休眠預金を活用した「社会的孤立解消のための事業」に3年間の助成事業として取り組んできたが、今年度で終了した。対象者は、宮崎県内の医療的ケアが必要な子ども達の親や保護者でHALE たちばなの leilei、ohana の利用者も対象となった。

これまでに取り組んできた活動は、以下のとおりである。

#### ① 県内の医療的ケア児の実態調査

- ・県内の訪問看護ステーションへのアンケート及び施設利用者などの当事者へのアンケートなどを実施した。

#### ② コミュニティカフェを活用した様々な専門家による相談カフェの実施

- ・毎月第2・第4月曜日に岡元薬局の岡元さん(ホームホスピス宮崎理事)を相談員として開催してきた。

### ③ 当事者へのアプローチ

- ・当事者が関わる医学部附属病院や県立病院、医療的ケア児支援センターに「つどいけあ」のパンフレットを配布することで取り組みを周知し、当事者へのアプローチを図るための広報活動の連携を図った。

### ④ 研修ルームを活用した各種教室などの定期開催

- ・ヨガ教室（ナイトヨガ）：2022年7月から毎月開催
- ・ウクレレ教室：2022年12月から毎月開催

### ⑤ ピアサポートの取り組み

- ・カフェを利用して、当事者によるランチ会などの気軽に参加できるピアサポートの会（ママランチ会）を実施してきた。

### ⑥ カフェでの就労支援や在宅で取り組める仕事の調査やマッチング

- ・10月より音声データの文字起こしサービスを開始した。

### ⑦ 全国の先進的な取り組みとの連携

- ・東京都世田谷区の「もみじの家」、千葉県松戸市の「レスパイトハウスやまぼうし」を訪問し、視察と意見交換を行った。

SNS やリモートミーティングシステムを利用した定期的な家族会ミーティング「Pono」

- ・ほぼ毎月開催。県内の3つの家族会とオンラインミーティングを行い、近況報告や意見収集などを行ってきた。

### ⑧ SOS ネットワーク「つどいけあ」の構築

- ・県内の医療的ケア児などを持つ家族の悩みや声を聞き、アドバイスや有用な情報を提供するためのシステム。掲示板機能などを柱としたウェブサイト構築した。

### ⑨ 福祉避難所としての設備の整備

- ・太陽光発電システムと連動した蓄電池を導入し停電に備えている。



この事業は、2023年度までの3年間の事業で、事業に関わるスタッフの人件費、備品費、セミナーの講師謝金などが助成された。

2023年度は、「つどいけあ」の構築を完成させ、誰でも相談できる匿名掲示板「つどいけあ相談所」を開設するとともに、有用な情報を発信するプラットフォーム機能も持たせた。

また、先進地域の視察として、7月に東京都世田谷区の医療型短期入所「もみじの家」（全国医療的ケアネットワーク i-Line の事務局）、千葉県松戸市の福祉型短期入所「レスパイトハウスやまぼうし」などを訪問し、意見交換を行った。その中でも福祉型短期入所事業の意義と課題について有意義な情報を収集することができた。

視察で得られた知見やHALEたちばなの現状などを踏まえて、8月に宮崎県福祉保健部に福祉型事業の報酬改定に関する提言書を提出し、受理された。その結果、2024年度より、医療的ケア児をお預かりする短期入所事業に対して補助金が支給されることとなり、一定の成果を得た。

また、主に医療的ケア児の母親を対象とした仕事の仲介事業として「文字起こしサービス」を始めた。これは、講演やインタビュー、会議の音声記録データをテキストにする作業で、宮崎大学や司法書士事務所などから依頼があり、定着しつつある。

この休眠預金活用事業については、2024年度以降も他の補助金の活用やHALEたちばなの利用者サービス、広報事業の一環としても継続していくこととしている。



やまぼうし視察



ママランチ会



「つどいけあ」HP

### (3) たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿

#### ①たちばな学舎

外部研修・カルチャー教室として利用しました。

【2023年3月からHALEたちばな3階へ移転】

【利用実績】

カルチャー教室

- ・ヨガ教室(ナイトヨガ) 2022年7月から毎月開催
- ・ウクレレ教室 2022年12月から毎月開催



#### ②コミュニティカフェ游椿

ケアルームやおストメイト対応トイレを備えたカフェとして運営。

外部の方と委託契約を結んで運営しています。

スタッフ(2階の利用者の医ケア児保護者)がフロア業務の一部を担当しました。

- ・Café KiKi(プレートランチ) 2022年6月～  
営業日(月・火・水・金)

2023年度来店者実績 (1,582 人来店)

- ・相談カフェ(休眠預金事業の一環)

毎月第2・第4月曜日に岡元薬局の岡元さん(ホームホスピス宮崎理事)を相談員として開催。

- ・ママランチ会(休眠預金事業の一環)

leilei・ohana 利用の医ケア児のママたちの集いとして開催。

2023年8月25日 25名参加

#### (4) 医療・介護保険規定による事業

##### ①みつばち診療所

医師：楠元恭子（常勤）

2023年4月より、石坂真梨子（常勤、水曜日医大勤務、11/18～産休）

2023年7月より、近藤千博（非常勤、火曜 PM・水曜）

2023年11月より、新森加奈子（非常勤、木金 9：30-13：00）

2024年1月より、田中美幸（非常勤、月・木）

看護：准看護師2名、看護師2名(内1名新卒者)

事務：非常勤1名

##### ・2023年度訪問実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定期訪問	184	189	204	195	210	232	264	273	278	282	313	328	2,952
往診	20	22	29	32	30	27	30	19	31	16	25	35	316
緊急往診	8	4	2	2	3	1	0	4	2	0	2	2	30
夜間往診	2	3	5	3	1	0	2	2	4	0	2	1	25
深夜往診	3	1	1	4	1	0	1	1	2	1	3	3	21
休日往診	2	0	0	1	0	1	2	1	3	2	1	1	14
外来	13	11	18	17	14	8	11	15	13	16	15	17	168
計	232	230	259	254	259	269	310	315	333	317	361	387	3,526

##### ・患者登録数（人）

登録者数 183（うち入院者数 4）

##### ・居住地別（入院者除く）（人）

自宅（医療的ケア児以外）	71
自宅（医療的ケア児）	12
かあさんの家(3軒)	8
有料老人ホーム, GH, 高齢者マンション(26か所)	78
介護付き有料老人ホーム(特定施設1か所)	14

## ②訪問看護ステーションぱりおん

訪問看護ステーションぱりおん（橘通）サテライトぐりーん(恒久)

所 長：堤育子

令和6年3月時点

看護師・保健師：常勤10名・非常勤2名

理学療法士：常勤2名

介護福祉士：1名

事務：非常勤2名 常勤1名

雇用者：看護師3名（うち新卒者1名）

退職者：常勤看護師2名

（外部事業）

宮崎県医療的ケア児支援事業

宮崎県専門認定看護師相談支援事業

宮崎中学校出前講座

清武せいりゅう支援学校修学旅行支援

休眠預金事業

### 【事業内容・実績】

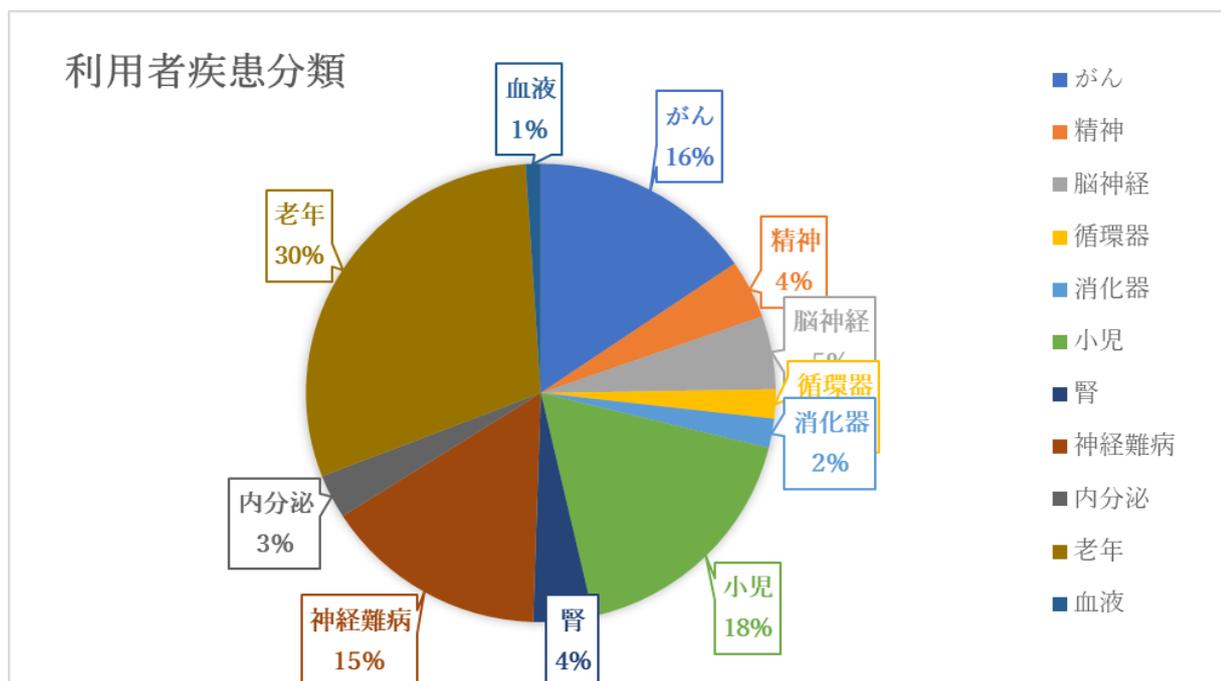
月	予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	介護計	医療計	合計件数
4	3	56	12	23	16	83	2	192	436	631
5	4	61	11	24	24	86	9	215	483	702
6	4	64	19	22	37	81	9	232	497	733
7	12	59	10	23	23	63	8	186	456	654
8	4	65	18	26	28	69	9	215	483	702
9	9	51	30	23	25	60	9	198	393	600
10	14	47	32	24	33	72	9	217	465	696
11	14	50	36	24	29	93	8	240	497	751
12	13	47	24	30	31	73	9	214	463	690
1	12	44	27	25	33	76	8	213	463	688
2	12	36	30	26	34	66	8	200	519	731
3	13	33	27	27	26	75	9	197	512	722
									総 計	8,300
									平 均	691.6

延べ訪問回数 8,300件

利用者数（月別）

月	予防	介護保険	併用	医療	合計人数
4	1	43	4	48	88
5	1	40	3	48	86
6	1	42	2	47	88
7	2	42	6	45	83
8	1	38	2	53	90
9	2	37	3	48	84
10	4	39	3	55	95
11	5	42	5	52	94
12	4	40	2	50	92
1	4	42	2	48	92
2	4	42	5	51	92
3	3	42	4	54	95
				延べ人数	1,079
				月平均	89.9

【利用者疾患別分類】



【看取り件数】

4月4名 5月1名 6月1名 7月7名 8月4名 9月2名 10月0名 11月2名 12月2名  
 1月0名 2月2名 3月1名

計 26名

## 【外部講師派遣等】

(堤)

宮崎県専門認定看護師派遣事業

STEP2 講義 (5/20)

宮崎看護専門学校医療専門課程 地域看護概論 (5/31 6/7 6/9)

熊本大学医学部看護学科 在宅感染 がん看護 (6/13)

宮崎大学医学部看護学科 がん、小児訪問看護 (6/20)

宮崎県立看護大学 地域看護 (6/30)

宮崎大学医学部 地域医療 (7/12)

訪問看護事業財団アドバイザー派遣事業アドバイザー (7/13)

宮崎県看護協会セカンドレベル 保健福祉の協働 (10/13) 死生看護学 (10/31)

日南看護専門学校 (11/29)

プライマリケア連合学会九州大会 発表 (1/20)

EAFONS 学会(香港) 発表 (3/5)

(吉田)

宮崎看護専門学校 (6/3 6/10)

令和5年度医療的ケア児等養成研修 (7/20)

宮崎市社会福祉事業団 医療的ケア研修 (8/2)

宮崎県立看護大学看護学研究会 第16回学術集会 (9/2) 村富 山本 参加

## 【実習受け入れ】

宮崎大学医学部看護学科 宮崎看護専門学校 県立宮崎看護大学 九州保健福祉大学  
セカンドレベル実習 STEP1 実習 病院実習 PT4名

## 【参加研修】

毎月新卒者研修実施

新卒者研修 1名 実習：医師会病院 県立宮崎病院 県立こども療育センター

新卒者研修 県立宮崎病院 東病院 潤和会記念病院

所内研修 感染研修 災害対策 褥瘡研修 難病研修 訪問看護サミット  
倫理研修・地域交流 (板井教授)

## ③日中一時支援 ohana

管理者：川越やよい

看護師：常勤1名、非常勤3名

介護福祉士：常勤2名、非常勤2名

保育士：2名 生活支援員：1名

事務：1名



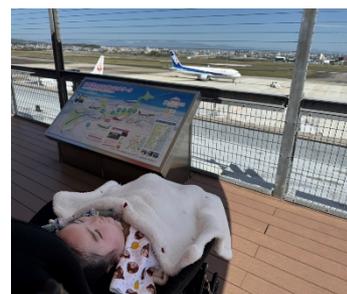
## 【事業内容】

主な対象：医療的ケアが必要な方  
 運営：月～金(土日祝、年末年始休み)  
 時間：9時～18時(送り17時) 送迎あり  
 定員：火～木 10名 月・金 5名  
 入浴：保険外利用は500円/1回



## 【一日の流れ】

日中	<u>朝から来所</u>	<u>学校終了後來所</u>
来所	バイタルチェック	バイタルチェック
午前	入浴・処置 水分補給	入浴・処置 水分補給・注入
お昼	注入	
午後	レクリエーション 帰りの準備	帰りの準備
	退所	退所



## 【日中行事の様子】

天気の良い日は近くの公園や商店街へお散歩や、科学技術館やお花見、海や神社、お祭りなど外出の機会を設けている。室内では製作やリズム遊び、バランスボールやハンモックを使って体を動かしたり、季節のフルーツやおやつを口に含んで味覚を刺激するなどの遊びを取り入れ、楽しく色々な体験をしていただけるよう企画している。

## 【実績】

月	利用者数	内訳			月	利用者数	内訳		
		未就学児	就学児	卒業後			未就学児	就学児	卒業後
4	16	5	8	3	10	20	9	8	3
5	17	6	8	3	11	19	9	7	3
6	16	5	8	3	12	20	9	8	3
7	17	7	7	3	1	18	8	7	3
8	20	9	8	3	2	17	8	6	3
9	22	10	9	3	3	19	7	7	5
					合計	221	92	91	38

### ③ 共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei

管理者：広瀬知佳

看護師：常勤11名、非常勤2名

日中一時支援の職員が兼務

**【事業内容】**

主な対象：医療的ケアが必要なお子様～高齢者

運営：金～日(年末年始休み) 最長 2泊3日

時間：9時～翌16時(帰り15時)

定員：5名

日曜日、祝日は送迎なし

「HALE たちばな」には、診療所や訪問看護ステーションが併設のため、医療の相談も可能。

自宅でも訪問診療や訪問看護により連携した医療を提供。

**【実績】**

月	利用者数	内訳		利用者年齢		
		障がい	介護	未就学児	就学児	大人 (18歳以上)
4	20	20	0	4	10	6
5	17	17	0	4	7	6
6	21	21	1	5	10	7
7	19	19	0	4	9	6
8	19	19	0	4	8	7
9	20	20	0	4	9	7
10	24	23	1	5	11	8
11	23	22	1	4	9	10
12	22	22	0	5	8	9
1	20	20	0	4	6	10
2	19	19	0	5	6	8
3	19	18	1	5	3	11
合計	244	240	4	53	96	95

## 6) ホームホスピス推進研修センター事業

### (1) ホームホスピス研修生の受入れ (全国ホームホスピス協会より委託)

#### ①ホームホスピススキルアップ研修

なし

#### ②ホームホスピスの学校 実習

2023年6月6日～21日 1名(千葉県)

10月3日～7日 1名(和歌山県)

11月17日～22日 1名(長野県)

かあさんの家実習として3/7-8 2名(福岡県)

3/12 1名(青森県)

### (2) 一般社団法人全国ホームホスピス協会

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局よりホームホスピス宮崎へ業務委託

理事長：市原美穂

役員：理事6名、監事1名、事務局4名、書記1名

#### 【業務内容と実績】

##### ①会員管理

##### ②理事会の開催 (WEB)

##### ③定期総会 (ホームホスピス宮崎暮らしの保健室・WEB)

##### ④ホームホスピスの認定業務

##### ⑤認定審査業務 (レビュー)

##### ⑥ホームホスピスの学校の運営(年2期)

##### ⑦全国のホームホスピスの運営に関する相談・緊急支援

##### ⑧拠点整備団体の推薦協会主催の研修会の運営

##### ⑨研修会の実施

第7回ホームホスピス実践者育成塾 兵庫県神戸市・WEB開催 期日：2023年7月1, 2日

第12回ホームホスピス全国合同研修会 福岡県福岡市・WEB開催 期日：2023年12月2, 3日

##### ⑩ホームページ運営・ニュースレター (たんぽぽ) の発行

##### ⑪全国の支部活動の支援

東日本支部研修会 秋田県秋田市・WEB開催 期日：2023年9月9日

関東支部研修会 東京都 期日：2023年10月20日

西日本支部研修会 広島県広島市・WEB開催 期日：2024年3月24日

##### ⑫新しく開設されたホームホスピスへの支援

##### ⑬助成金の申請他、ホームホスピスの運営に関する資料作成などの業務

##### ⑭メットライフ生命 CSR活動対応 (聞き書きボランティア)

## 7) 研究・啓発・情報・広報

### (1) 認定 NPO 寄付文化の醸成

- ・HPで、賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請
- ・第三者評価（グッドガバナンス認証）

- ・研修会等への参加

2023年5月17日 思いをカタチにするための助成金講座(宮崎市)

7月27日 readyfor 遺贈寄付についてのオンライン勉強会(オンライン)

8月1日 NPO 法人制度説明会(宮崎市)

8月26日 SNS 活用研修(宮崎市)

2024年2月6日 NPO 法の認定基準における受取寄付金とその返礼に関する説明会(オンライン)

3月6日 法人向け不当寄附勧誘防止法説明会 (オンライン)

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

准認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

### (2) ホームページ SNS の充実・報道

- ・ニュースレター HHMにゆーす

2023年7月発行…35号

2024年1月発行…36号

- ・暮らしの保健室だより 毎月発行（12回）

- ・Facebook <https://www.facebook.com/homeospice.miyazaki/>

- ・ホームページリニューアル <https://www.npo-hhm.jp/>

- ・HALE たちばなホームページ <https://www.hale-tachibana.jp/>

- ・Instagram・X



HP トップページ

### マスコミなどの紹介

《新聞等の掲載》

2023年8月29日 宮崎日日新聞

2023年12月28日 宮崎日日新聞

2024年3-4月号 訪問看護と介護

### (3) 講師派遣・見学者の受け入れ

#### ・講師派遣(市原)

2023年 4月9日 つなぐ本舗 納屋カフェ縣塾(延岡市)

4月18日 在宅医療研修会

5月17日 鳥取大学地域学部

7月15日 サマーセミナー

8月10日 丸山町サロン

9月3、4日 聞き書き学校全国大会(熊本市)

11月7日 県立看護大学看護学科

11月23日 在宅医療推進フォーラム

12月13日 宮崎大学看護科

2024年 2月4日 延岡男女共同参画会議 21 春のフォーラム(延岡市)

2月12日 暮らしの保健室フォーラム

#### ・見学者の受け入れ

ホームホスピスカあさんの家…10件(入居相談見学は含まない)

HALE たちばな…随時対応

### (4) 外部委員会参加

・宮崎市在宅医療プロジェクト会議…市原、太田

・県在宅緩和ケア推進委員会…市原

・延岡市障がい児・者支援拠点などの整備可能性検討委員会…市原

・日本財団未来会議…市原

・宮崎市医療定期ケア児等支援実務者検討会…堤

## 8) 助成・寄付

①休眠預金…社会的孤立解消のための事業

②Syncable 継続寄付キャンペーン 2023年5月29日～

【市原さんの家】から全国に広がるホスピスサービス  
その地域と暮らしを変える マンスリーサポーターも募りましょう  
2023年5月29日～ 50人目標まで  
マンズリーサポーター募集キャンペーン！

全国に広がったホームホスピスの原点「かあさんの家」も18年経ちました。あちこちへも必要になっていきます。他地域への新しい特えや組織、トイレ割りの実現もその考えなければなりません。実現に備えた対策も更新しなければなりません。ホームホスピスは制限事業ではなく、自立した生活が困難な方のケアは一朝当たり一人一人の人数の少人数が維持のため、運営に十分な収益を上げることが難しいのが現状です。そのため、毎月定額でご支援いただく「マンズリーサポーター」を募集いたします。「ます、1年だけでもやってみよう」という方も是非ご登録ください。ごめたい時期にご登録いただきましたら解約も可能です。

【募集期間】  
◆主催：認定NPO法人 ホームホスピス県塾  
◆期間：2023年5月29日（月）～6月30日（金）  
◆対象：50人

5/29スタート！  
ご登録はこちらから

500円	1000円	2000円
3000円	5000円	10000円

1円未満の端数は切り上げ、1000円未満は1000円未満とさせていただきます。  
1円未満の端数は切り上げ、1000円未満は1000円未満とさせていただきます。  
1円未満の端数は切り上げ、1000円未満は1000円未満とさせていただきます。

認定NPO法人 ホームホスピス県塾  
〒880-0001 延岡市西1-1-1  
電話：0985-53-0256  
Eメール：info@hospice-kn.jp

## 9) 組織運営

### (1) 理事会・定期総会

#### ①理事会

場所：暮らしの保健室及び ZOOM によるオンライン併用

第 1 回 2023 年(令和 5 年)5 月 19 日(金)17 時～

- ・ 2022 年度事業報告について
- ・ 2022 年度決算報告について

第 2 回 2023 年(令和 5 年)5 月 27 日(土)15 時～

- ・ 理事長の選任について

第 3 回 2023 年(令和 5 年)8 月 28 日(月)18 時～

- ・ 給与規定の変更の承認
- ・ かあさんの家「霧島」の移転について
- ・ 医師の求人について
- ・ 25 周年記念事業の日程及び内容

第 4 回 2024 年(令和 6 年)3 月 29 日(金)17 時～

- ・ 2024 年度(令和 6 年度)事業計画について
- ・ 2024 年度(令和 6 年度)収支予算について
- ・ 各種手当の見直しについて

#### ②総会

通常総会 2023 年(令和 5 年)5 月 27 日(土)13 時 30 分～

議長：久保野イツ子 議事録署名人：高橋好香、黒岩雄二

第 1 号議案 2022 年度（令和 4 年度）活動報告・決算報告

第 2 号議案 2023 年度（令和 5 年度）役員選出

正会員総数 22 名のうち 賛成 22 名 反対 0 名

報告事項...2023 年度(令和 5 年度) 事業計画・予算

### (2) 会員

正会員 19 名 賛助会員 42 名 団体賛助会員 1 団体

### (3) 寄付者

124 名(団体も含む)

#### (4) 事務局

リーダー会議…開催日：毎月第4木曜日（定例）

参加者：理事長、担当理事、所属長、管理者

事務局会議…開催日：日にちの設定はしていないが、その都度打ち合わせを行ってきた。

参加者：理事長、副理事長、担当理事、事務局、管理者

#### 【本部事務局】

事務局担当理事：黒岩 雄二

経理担当：2名 総務・事業担当：3名 かあさんの家担当：1名

・宮崎市エンディングノートアドバイザー 4名

・赤江地域まちづくり推進委員会つなごう部会 所属 1名

#### 【HALE たちばな事務】

事務長：小川 博司

HALE 事務担当：2名 訪問看護事務担当：2名

診療所事務担当：1名 障害福祉事務担当：2名（兼務）